

# 第97期 中間報告書

平成26年4月1日から平成26年9月30日まで



## トップインタビュー

**機能強化・売総経費率改善を徹底して、  
市場や消費の変化に柔軟かつ機敏に  
対応してまいります。**

伊藤忠食品株式会社

証券コード：2692

# 機能強化・売総経費率改善を徹底して、 市場や消費の変化に柔軟かつ機敏に 対応してまいります。



株主の皆様におかれましては、日頃より当社事業への厚いご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

平成27年3月期第2四半期累計期間(平成26年4月1日から平成26年9月30日まで)の事業概況をご報告し、通期の見通しについてご説明させていただきます。

平成26年12月

代表取締役 社長執行役員 星 啓一

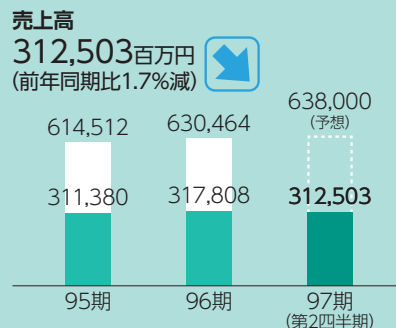
## 企業理念

常に時代の変化と要請を先取りし、  
健康で豊かな食生活創りを通じて  
消費者と社会に貢献します

## 経営ビジョン

卸機能日本一のグッドカンパニーになる

## ■ 連結決算ハイライト (単位:百万円)



## 当第2四半期の取り組みと 経営成績についてお聞かせください。

国内景気が全般的に緩やかながら回復に向かうなか、食品流通業界は、今年4月の消費税率引き上げによる影響や、根強い消費者の節約志向から、引き続き厳しい環境に置かれています。ただし、その一方では付加価値の高い商品に対する支持の高まりが見られるなど、消費マインドの二極化が鮮明になっており、こうしたニーズの多様化に対応した商品提案が重要性を増しています。

そうしたなかで当社グループは、中期経営ビジョン「卸機能日本一のグッドカンパニー」の実現に向けて、「コンプライアンス」と「安定収益の確保」を当期のミッションに掲げ、企業基盤の構築に取り組んでいます。また、新規事業として、「ブランド

商品開発」「ギフトカード事業」「宅配代行サービス」を推進しつつ、今年4月に「ギフト事業部」を新設し、ギフト分野の取り組みを加速するなど、営業力の強化に努めています。

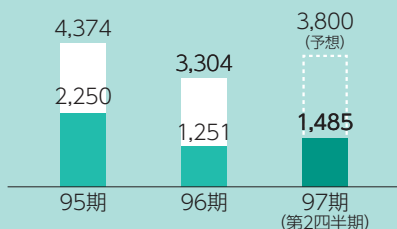
当第2四半期は、消費増税に伴う駆け込み需要の反動と、大型台風や集中豪雨等の天候不順による影響が大きく、売上高は3,125億3百万円(前年同期比1.7%減)にとどまりました。商品分類別では、特に「ビール」「調味料・缶詰」「嗜好・飲料」の売上が減少しました。

利益面では、業務改革の推進等により費用を圧縮し、営業利益が14億85百万円(同18.7%増)、経常利益が19億26百万円(同9.9%増)と、増益を果たしましたが、固定資産売却益の減少等により、四半期純利益は12億91百万円(同6.9%減)となりました。

■ 第2四半期 ■ 通期

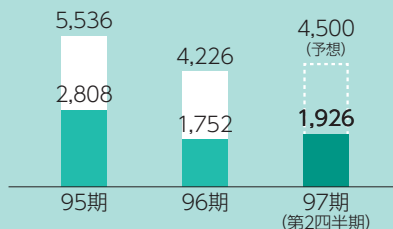
### 営業利益

1,485百万円  
(前年同期比18.7%増)



### 経常利益

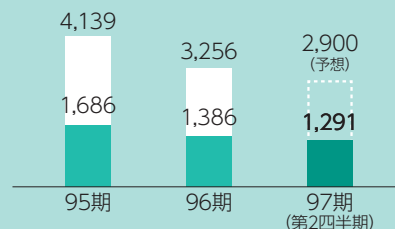
1,926百万円  
(前年同期比9.9%増)



詳細はP7-8をご覧ください。▶▶▶

### 四半期(当期)純利益

1,291百万円  
(前年同期比6.9%減)



## Q 売上高の減少をカバーし、営業利益の増加につなげた取り組みについてお聞かせください。

当第2四半期の商品売上は、前年同期比で約53億円減少しましたが、個々の取引を見直して細かな改善に努め、商流関連の売上総利益の減少を約1億円にとどめることができました。これに物流関連の約6億円の減益が加わり、約7億円の減益となった売上総利益に対し、販売管理費を約9億円低減させた結果、営業利益が約2億円増加しました。

販売管理費の低減のなかで、特に大きな効果をもたらしたのは、業務改革の取り組みです。全社横断型プロジェクトと

して合計47チームを発足し、「物流コストの改善」「事務機器経費の削減」「債権債務精度の向上」「全社共通課題」の各テーマについて、ムリ・ムダの見直しを図っていきました。

当社グループでは、引き続きローコストオペレーションを推進し、さらなる経営効率の向上と利益改善を追求します。

## Q 計画の達成に向けて、注力している取り組みについてお聞かせください。

当社グループは、平成28年に迎える創業130周年までの2ヶ年計画を当期よりスタートし、増収および経常利益での増益を目指しています。

### ■ 2ヶ年計画

(単位：億円)

	H27年3月期	H28年3月期
売上高	6,380	6,960
売上総利益	340	370
売上総利益率(%)	5.3	5.3
販売管理費	302	317
販売管理費率(%)	4.7	4.6
営業利益	38	53
経常利益	45	61
経常利益率(%)	0.7	0.9
当期純利益	29	38

### ■ 5つの重点施策

- 優良顧客との取引深耕
- 商品調達力・物流機能強化
- 業務改革の推進
- ギフトNo.1卸へ
- 新規事業の収益化とチャレンジ

これらの経営計画を達成するために、私たちは「優良顧客との取引深耕」「商品調達力・物流機能強化」「業務改革の推進」「ギフトNo.1卸へ」「新規事業の収益化とチャレンジ」の5つの重点施策を推進しております。

ギフトについては今後、中元・歳暮だけでなくギフト市場全体に対応するための企画開発と総合機能構築を検討していきます。今年10月には、ギフトに特化した展示会を初開催するなど、得意先様への提案を強化しております。第一回目は百貨店様向けの提案でしたが、来期以降、全業態、得意先様向けに年2回のギフト展示会開催を検討しております。

新規事業については、ブランド商品とプリペイドカード、宅配代行サービス「はい!お届け便」の拡大を図っています。ブランド商品は「憧れ」「安心感」の2つを軸に、高付加価値・差別化につながる商品開発を推進し、取り扱いを21ブランド・63アイテムに増加しました。プリペイドカードは現在、3企業・約320店舗に導入しており、当期中にこれを7企業・720店舗以上に拡げていきます。ギフト需要を掘り起こすオリジナルカードの品ぞろえも18券種となりました。「はい!お届け便」は、今年9月現在で11企業・159店舗に導入され、会員数は10万3千人に達しました。配送車両1台当たりの利用者数をより増加させるべく、引き続きエリア内での店舗増・会員増に注力していきます。

## Q 今後の見通しと配当について お聞かせください。

成長を続けていくためには、売上総利益の改善と販売管理費の削減に向けた継続的な取り組みが必要です。当社は売上総経費率(販売管理費÷売上総利益)を指標に取り組みを進めています。当第2四半期は90.87%と、前年同期比較で1.75%改善しました。

通期の連結業績については、当年スタートした2ヶ年計画の初年度目標を変更せず、売上高6,380億円(前期比1.2%増)、営業利益38億円(同15.0%増)、経常利益45億円(同6.5%増)、当期純利益29億円(同11.0%減)の達成を目指します。第2四半期までの売上低調を挽回すべく、全社を挙げて努力してまいります。

当第2四半期末の配当は、予定通り1株当たり34円とさせていただきます。期末配当についても同34円とし、年間配当額同68円(前期同額)を計画しています。今後も、期間収益の増減に大きく影響されない、継続的な安定配当の実施を利益還元の基本方針としていきます。

株主の皆様におかれましては、当社グループ事業の発展にご期待いただき、これからも長きにわたりご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# 社会との **共通価値** を生み出す企業行動

本業を通じて世の中にプラスをもたらす存在へ

当社は「健康で豊かな食生活創りを通じて消費者と社会に貢献する」という企業理念のもと、事業活動を行っています。近年、地域間格差の拡大、若い人材の地域離れ、高齢化等の社会課題解決に向けた取り組みが求められています。当社も人々の暮らしのなかで最も重要なライフラインの一つである「食」を担う食品卸売業として、本業を通じた社会課題の解決への取り組みを進めております。

## 共通価値の創造

CSV (Creating Shared Value)

社会問題・環境問題を  
ビジネス化によって解決することで、  
新しい市場を創造し、  
会社の競争力・存在意義向上を  
目指す経営手法

## 全国の商業高校生が“食”をプロデュース 「商業高校フードグランプリ2014」を開催

2013年度より商業高校(商業科を有する高校)では、新学習指導要領の一つに「商品開発」が導入されました。商品開発だけでなく流通に必要な知識や技術を体験的に習得することが求められています。当社は、商業高校が継続的に流通・販売可能な商品の条件や課題を学び、商品の改良や次の商品開発に活かす場として、「商業高校フードグランプリ」を年に一度開催しています。地域の特産品を使ってメーカーと共同開発した商品の募集に対し、今年度は全国から79品の応募があり、8月に名古屋で行われた決勝にて大賞および各賞が決定しました。コンテストを開催するだけでなく、開発商品を得意先様に採用していただく事例も少しずつ増えてきました。商品の売上拡大は協力メーカーが商品開発・製造を継続的に支援していただくことにもつながります。当社はこれからも未来を担う高校生への教育を継続的に支援するとともに、地域活性化につながる商業高校開発商品の販売を推進していきます。



審査員特別賞

佐賀県立  
唐津商業高等学校  
「松ゆらる 美味eat」

審査員特別賞



北海道函館商業高等学校  
(定時制)「GOPA」

愛知県立  
愛知商業高等学校  
「希望のはちみつりんご」

大賞

来場者賞



## 共通価値

### 本業

商業高校開発  
商品の本業での  
取り扱いによる  
取引拡大

### 社会

商業高校が  
商品開発について  
体験的に学ぶ場を  
提供



## 全国各地の価値ある商品をクローズアップする 「地域産品商品発掘商談会」を開催

日本各地には美味しいものが沢山あります。当社は、「安全・安心で美味しい日本各地の地域産品を全国の食卓へ」をスローガンに「地域産品プロジェクト」を推進しています。「日本の良さを再発見、再認識」することをコンセプトに各地で商品発掘を行い、毎月社内で「地域産品商品発掘商談会」を開催しています。当社の広域流通網を活用し、販路を拡大することができれば、地域経済の活性化にもつながる取り組みです。今後も、自治体、商工会、金融、団体等、各地の事業者と連携しながら取り組みを進めてまいります。

● 97期上期 商品発掘商談会の開催状況

開催日	平成26年 6月10日	平成26年 7月11日	平成26年 7月17日	平成26年 8月6日	平成26年 9月30日
対象地域	新潟県	福井県	北海道	東海	神戸

### 共通価値

本業	社会
価値ある商品の 調達力強化	地域産品の 販売による 地域経済 活性化

## 社会的ニーズの高まりを捉えた販売支援策 宅配代行サービス「はい!お届け便」を展開

はい!  
お届け便

買い物した荷物のお持ち帰りに苦労されているご年配の方やお子様連れに好評の「はい!お届け便」は、小売店で購入された商品をサービスカウンターで預かり、3時間以内にご自宅までお届けする宅配代行サービスです。導入いただいている小売店からは、「まとめ買い」による販売額の拡大や来店客数の増加につながっているとの声が数多く寄せられており、社会的ニーズを捉えたサービスが、得意先様への販売支援として効果を発揮しています。引き続きサービスを展開している首都圏・関西エリアでの導入店舗数・会員数の拡大に向けた施策を進めてまいります。



### 「はい!お届け便」の基本的な業務フロー

① 購入	② 受付	③ 梱包	④ 伝票作成	⑤ 集荷・配達
顧客	顧客	店舗	店舗	配達サービス
顧客が来店して購入	精算後、温度帯別に袋詰めしてサービスカウンターに持ち込んでもらい、受付	受付後、専用ケースに商品を梱包	梱包後、必要なデータをパソコン入力し、伝票を作成	担当者が店舗から集荷し、配達を完了。完了後専用ケースなどを店舗に返却

\*買い物した商品を店舗で受け付け(開店~午後7時)、3時間以内にお届け

### 共通価値

本業	社会
小売店の 買い上げ単価、 来店客数の拡大	サービス提供による 高齢・子育て世帯 支援

# 連結決算の概要

## ■ 連結損益計算書の概要 (単位:百万円)

### 売上高

**312,503** 百万円  
(前年同期比1.7%減)

消費増税に伴う駆け込み需要の反動と、天候不順による影響を受け、前年同期比で5,304百万円の減収となりました。

### 営業利益

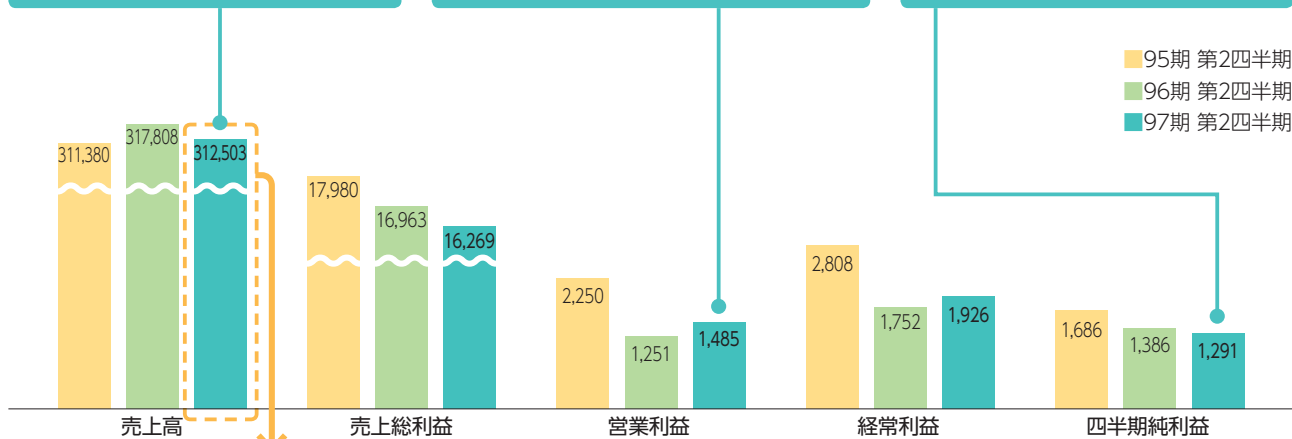
**1,485** 百万円  
(前年同期比18.7%増)

減収に伴い売上総利益が減少したものの、業務改革の推進により経費を圧縮し、前年同期比で234百万円の増益となりました。

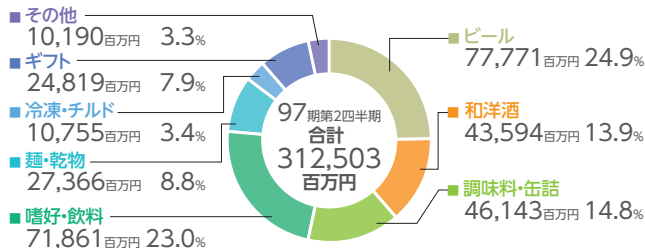
### 四半期純利益

**1,291** 百万円  
(前年同期比6.9%減)

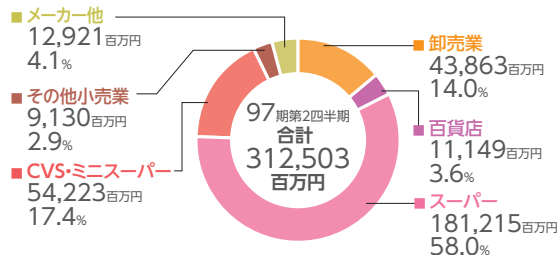
前年に発生した不動産売却益がなくなり、特別利益が減少したことなどから、前年同期比で95百万円の減益となりました。



### 商品分類別売上高構成比



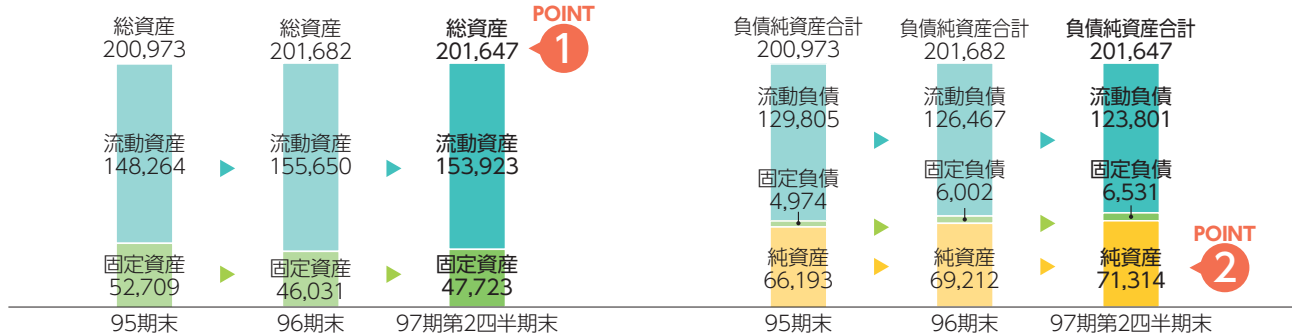
### 業態別売上高構成比



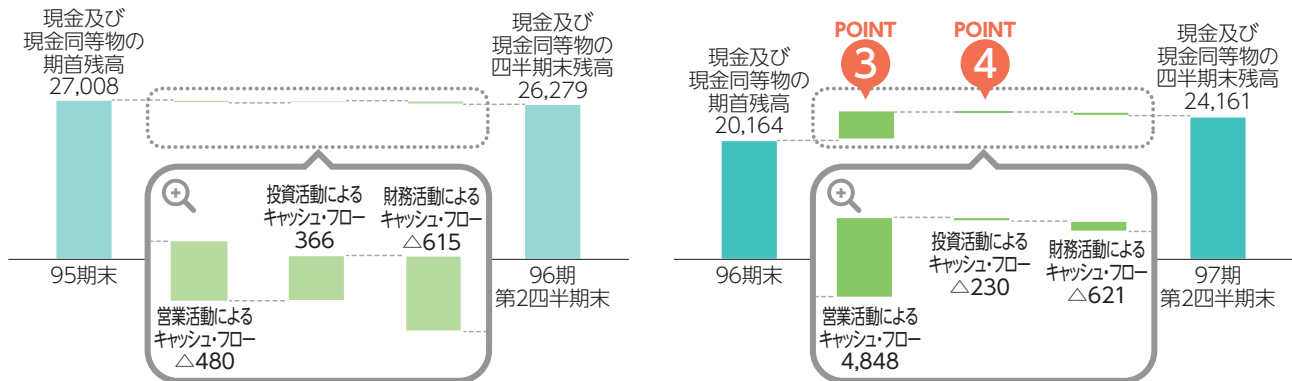
(注)「ビール」には、発泡酒、ビール風アルコール飲料(第3のビール)の売上高を含んでおります。



■ 資産、負債及び純資産の状況 (単位: 百万円)



■ 連結キャッシュ・フローの状況 (単位: 百万円)



**POINT 1** 資産は2,016億47百万円となり、前期末に比べ34百万円の減少となりました。これは株価回復により投資有価証券が増加したものの、消費増税の影響で前期末の資産が膨らみ、売上債権と棚卸資産が、それぞれ減少したことなどによるものであります。

**POINT 2** 純資産は713億14百万円となり、前期末に比べ21億1百万円の増加となりました。これは、利益剰余金の増加に加え、株価の上昇によりその他有価証券評価差額金が増加したことなどによるものであります。

**POINT 3** 営業活動によるキャッシュ・フローは48億48百万円の収入（前年同期は4億80百万円の支出）となりました。これは主に売上債権ならびにたな卸資産の減少によるものであります。

**POINT 4** 投資活動によるキャッシュ・フローは2億30百万円の支出（前年同期は3億66百万円の収入）となりました。これは主に無形固定資産の取得による支出などによるものであります。

**商号** 伊藤忠食品株式会社  
**創業年月日** 明治19年2月11日(1886年2月11日)  
**設立年月日** 大正7年11月29日(1918年11月29日)  
**資本金** 4,923,464,500円  
**従業員数** 連結1,044名 個別743名  
**事業内容** 酒類・食品の卸売およびそれに伴う商品の保管、運送ならびに各種商品の情報提供、商品流通に関するマーチャンダイジング等を主とした事業活動を展開。  
**本店所在地** 大阪市中央区城見2-2-22  
**大阪本社**  
 〒540-8522 大阪市中央区城見2-2-22  
 電話(06)6947-9811  
**東京本社**  
 〒107-8450 東京都港区元赤坂1-2-7  
 電話(03)5411-8511

**役員**  
 取締役・会長執行役員 濱口 泰三 常務執行役員 青山 裕一  
 代表取締役・社長執行役員 星 秀一 常務執行役員 三浦 浩一  
 取締役・専務執行役員 阿部 淳一 執行役員 久野 耕佐  
 取締役・専務執行役員 大釜 賢一 執行役員 酒井 健雄  
 取締役・常務執行役員 松本 耕一 執行役員 鈴木 昌  
 取締役(非常勤) 千葉 尚登 執行役員 松本 正幹  
 常勤監査役 小池 俊一 執行役員 河原 光男  
 監査役(非常勤) 増岡 研介  
 監査役(非常勤) 桜木 正人  
 監査役(非常勤) 川村 篤生

## 子会社・関連会社

■ 連結子会社 ■ 非連結子会社 ■ 関連会社

卸売業 / ■ (株)中部メイカン ■ (株)スハラ食品  
 小売業 / ■ (株)宝来商店

物流管理・運送業 / ■ 新日本流通サービス(株)  
 サービス業 / ■ ISC ビジネスサポート(株) ■ (株)アイ・エム・シー

## 株主メモ

## STOCKHOLDER MEMO

**事業年度** 毎年4月1日から翌年3月31日まで

**定時株主総会** 毎年6月

**基準日** 定時株主総会 3月31日  
 期末配当金 3月31日  
 中間配当金 9月30日

**株主名簿管理人** 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
 三井住友信託銀行株式会社

**特別口座の  
口座管理機関** 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
 三井住友信託銀行株式会社

**郵便物送付先** 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

**(電話照会先)** 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)

**取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。**

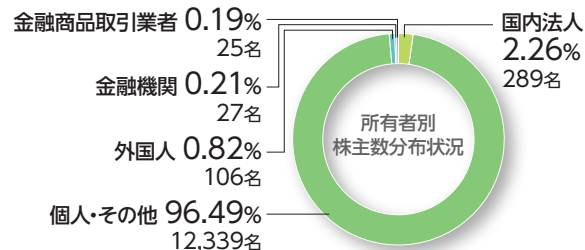
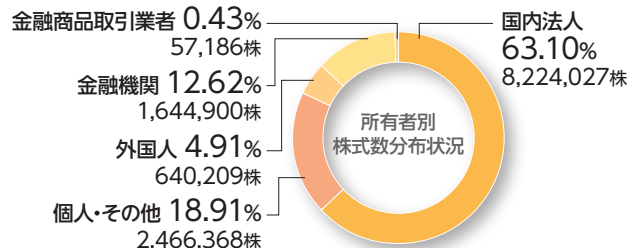
**公告方法** 電子公告の方法により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

\* 公告掲載の当社ホームページアドレス  
<http://www.itochu-shokuhin.com/>

**単元株式数** 100株

**証券コード** 2692

発行可能株式総数 40,000,000株  
 発行済株式の総数 13,032,690株  
 株主数 12,786名



## 大株主

株主名	所有株式数(株)	所有株式数比率(%)
伊藤忠商事(株)	6,620,316	50.79
日本トラスティ・サービス信託銀行(株) (三井住友信託銀行再信託分・アサヒビール(株)退職給付信託口)	815,000	6.25
味の素(株)	339,129	2.60
松下 善四郎	302,000	2.31
アサヒビール(株)	296,500	2.27
みずほ信託銀行(株)退職給付信託みずほ銀行口 再信託受託者資産管理サービス信託銀行(株)	249,300	1.91
伊藤忠食品(株) 従業員持株会	170,100	1.30
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)	99,800	0.76
日本マスタートラスト信託銀行(株)	90,700	0.69
クレディ スイス ルクセンブルグ エスエー オンビハーフ オブ クライアーツ	90,000	0.69

(注) 1 上記のほか、自己株式が194,831株あります。

2 日本トラスティ・サービス信託銀行(三井住友信託銀行再信託分・アサヒビール(株)退職給付信託口)の所有株式は、アサヒビール(株)が所有していた当社株式を三井住友信託銀行(株)に信託したものが、日本トラスティ・サービス信託銀行(株)に再信託されたもので、議決権はアサヒビール(株)に留保されております。

3 みずほ信託銀行(株)退職給付信託みずほ銀行口再信託受託者資産管理サービス信託銀行(株)の所有株式は、(株)みずほ銀行が所有していた当社株式をみずほ信託銀行(株)に信託したものが、資産管理サービス信託銀行(株)に再信託されたもので、議決権は(株)みずほ銀行に留保されております。

## ご案内

## INFORMATION

### 住所変更、 単元未満株式の 買取等のお申出先

- 証券会社に口座のある株主様 ▶ 株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
- 証券会社に口座がないため特別口座を開設されました株主様 ▶ 特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

### 「配当金のお支払い」 について

- 配当金額収証にてお受取りの株主様 ▶ 「支払通知書」に替えて「配当金計算書」を同封いたしております。
- 口座振込を指定されている株主様 ▶ 配当金支払いの際送付している「配当金計算書」が「支払通知書」となります。

### 「配当金計算書」について

※確定申告をなされる株主様は大切に保管してください。

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付書類としてご使用いただくことができます。

### 未払配当金の支払いのお申出先

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

# 株主優待のご案内

## Choice de Choice

Free Style Gift  
[ちいすdeちいす]

厳選された約50種類の商品からお好きな商品をお選びいただけるギフトです。

当社では、毎年3月31日の最終の株主名簿に記載または記録された単元株式数(100株)以上保有の株主様1名につき1口、当社オリジナルギフト商品をご賞味いただける株主優待を行っております。

優待のカタログの発送は6月を予定しております。

※カタログ掲載商品は変更となる場合があります。

3,000円相当

信州産りんごジュース  
しぼりっばなしテトラパック



第2位



北海道トンデンファーム  
セット

大山ハム  
伝統の逸品詰合せ



一番人気

銘柄米詰合せ



第3位

博多福さ屋  
無着色辛子めんたい  
切れ子



さんしょく伊賀上野の里  
ロスハム&つるし焼豚



酒悦 酒寿瓶詰合せ



サンダルフォー  
フルーツブレッド  
詰合せ



ハーゲンダッツ&ブランプリュン  
アイスセット

月揚庵  
さつま揚げセット



### Choice de Choice が届くまで

1 12月

中間報告書(本紙)ご送付  
※中間期は、株主優待を実施  
していません。

2 3月末

株主優待権利確定

3 6月下旬頃

株主総会后、決議通知に優  
待のカタログとハガキを同  
封じご郵送いたします。

4 9月30日までに  
ご投函ください。

カタログより優待商品をお  
選びいただき、ハガキを返信  
していただきます。

5 お届け

お選びいただいた優待商品  
がお手元に届きます。

## ISC 伊藤忠食品株式会社

- 大阪本社 〒540-8522 大阪市中央区城見2-2-22 電話 (06)6947-9811
- 東京本社 〒107-8450 東京都港区元赤坂1-2-7 電話 (03)5411-8511
- インターネットホームページURL <http://www.itochu-shokuhin.com/>



本報告書は、環境保全のため、FSC®認証紙を使用して  
植物油インクで印刷しています。